

第4回いわき市スポーツ推進計画検討委員会

◆日時：令和2年10月2日（金）午後3時00分～

◆場所：いわき市文化センター2階 中会議室

■出席者

(1) 委員（敬称略）：12名

区分	所属	氏名	備考
高等教育機関	東日本国際大学	福迫 昌之	委員長
スポーツ関係団体	いわき市体育協会	高羽 博樹	副委員長 欠席
	福島県エアロビック連盟	佐々木 喜栄子	
	いわき市スポーツ推進委員会	石井 文雄	
	いわき地区総合型スポーツクラブ連絡協議会	高田 幸子	
	(株)いわきスポーツクラブ	岩清水 銀士朗	代理出席
教育関係者 及び 関係行政機関	いわき地区高等学校体育連盟	佐竹 正徳	欠席
	いわき市中学校体育連盟	吉田 信治	
	いわき市小学校長会	中野 直人	
	福島県いわき教育事務所	小松 和宏	
経済・観光団体	いわき商工会議所	酒井 比呂志	欠席
	いわき経済同友会	波多野 和茂	
	(一社) いわき観光まちづくりビューロー	鹿崎 耕司	
その他	(株)L. A. P	伊藤 英雄	
	(一財) いわき市公園緑地観光公社	松本 守利	

(2) 事務局：12名

文化スポーツ室	津田室長	
スポーツ振興課	蛭田課長	
	草野課長補佐	
	正木課長補佐	
	鈴木主任主査兼係長	
	小針係長	
	菅波主任主査兼係長	
	鈴木主査	
	稲田主査	
東京オリンピック・パラリンピック担当	篠原課長	
観光交流課	新妻主幹兼課長補佐	
創生推進課	松本課長	
(株)KCS	吉富	
	伊藤	
(株)オフィス・コラボ	室谷	

■次 第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 第1～3章の基本フレーム（計画の方向性）について
 - (2) その他
4. 閉会

■議事要旨

会長からの挨拶の後、協議事項について事務局が説明し、その後、意見交換が行われた。
以下に、各出席者の発言要旨を示す

(1) 第1～3章の基本フレーム(計画の方向性)について

委員長	<p>第3章が今の肝になると思う。</p> <p>できれば、第1章2章の問題点について追加があればご意見頂きたい。</p> <p>→何もなし</p>
委員長	<p>第3章の議論を中心に進めるが、議論の中で第1、2章の話が出たら適宜戻る事とする。今までのスポーツ計画よりも広い視野でという趣旨もあるので、基本方針を決めていくという進め方である。第1、2章を踏まえたものとして、基本目標を10本挙げている。基本目標についても関連性がある中で、ある程度の分類分けしているので、追加や統合等があれば、ご意見をお願いしたい。前回の検討会で示したご自身のご意見に対して反映しているかでも構わない。</p>
委員	<p>資料を見て、スポーツに関する考えは入っているが、企業がスポーツに取り組んでいる実態はあるか。例えば交通安全週間等を複数の企業が取り組んでいるが、そのスポーツ版として企業主体のスポーツ推進活動のあるのでは。そういった角度からの見方もあっても良いと思う。</p>
委員長	<p>社員の健康づくりかもしれないが、そういう企業が中心で取り組んでいるスポーツの取り組みも入れて欲しいという意見があった。</p>
委員	<p>大きい工場等ではケガ防止のためにラジオ体操をしているというのを聞く。小さい会社でも社内でヨガをするような話を聞いていた。また、スポーツツーリズムやサイクルスポーツの基本目標についてだが、企業に協賛や後援を求めているかどうか。それに伴い、会社側もSDGsや国絡みでスポーツをやっていかなければならない。いわき市として大手企業に協力要請し、PRしていくことができるのではないかと思う。</p>
委員長	<p>サイクルスポーツの特出しをしている所である。いわきの特徴だが、伸びしろやインフラがあるという側面だと、市民参画や人を呼び込む目標として入れられているという事務局の考えである。</p> <p>他にはないか。</p>
委員	<p>コロナ事情があるので、オンラインを利用した朝の時間でのスポーツの取り組みを盛り込むのはどうか。参加して運動の習慣をつけるというような具体的な取り組みを入れてはどうか。誰でも良いので参加して欲しいと告知すると誰も参加しなくなるので、参加する人は市に連絡する等のひと手間を加えると参加する意識が出来ると思う。ヨガはオンラインに適していると思うので、具体的に実施して頂ければと思う。</p>
事務局	<p>いわきスポーツクラブと組んで、オンラインでスポーツに取り組んでいる。スポーツ推進と健康増進の目的である。いくつかのコースがあり、映像で配信しているので、ぜひご活用頂ければと思う。また、ICTを活用した新しいスポーツのあり方は市民も取り組まれていると思うので、計画に位置づけても良いかと思う。</p>

委員	学校関係も ICT に力を入れて、アプリ開発等を通して児童生徒が携わる事が出来る環境があると思う。
事務局	Google Fit 等のアプリもあるので、うまく活用出来ればと思う。その他、スマートシャツの貸し出しも行っている。
委員長	オンラインについては、あるのでやってくださいというスタンスはあまり浸透しないように思う。加えて市が取り組んでいる所にも若干違和感がある。市が何をするかは置いておいて、顔を合わせて指導できるのが地域だと思うので、サービスの提供だけでなく、地域でやる良さを開発していくのが必要になっていくと思う。物理的な場所を確保しつつ、3密を避けた上で、外出できない方の様子をみたり、一緒に活動したりするような環境整備が必要と考えている。
委員	今の事務局の話聞いて、やっているのだと感じた。今まで情報として入ってなかった。以前、いわき市の HP 内を見ていたらアンケートが出てきたが、通常市民はアンケートのページまでたどり着かないと思う。市民が見つけやすいための工夫を検討して頂きたいと思う。市や地域でどこまで出来る範囲なのか、具体的には何が出来るかになると思う。
委員長	色々な主体があると思うが、行政が主体になるものや、行政が支援して促進する取り組み等があると思う。例えば、オンラインを実施するのは基本的に地元の団体(会社、個人含む)で、行政が支援をするのがいいと思う。取り組みをするにあたって、補助メニューから支援するが、個別にするのではなくこの計画に則って、方向性を決めたいので賛同する団体を募り、一緒に進めていく形になるかと思う。その他に何かないか。
委員	健康な体づくりプログラムをいわき市と連携しており、ウェアラブルの話や、コロナ対策で密を避ける為にも、先端の取り組みが出来るのではないかと。参加者にもっと知って欲しいと思っており、この取り組みをベースに、一つの事例として継続していきたい。
委員長	いわき FC (いわきスポーツクラブ) としては、このような取り組みも重要だと思うが、メイン事業は誘客や活性化につながることに期待してのことだと思う。
委員	両輪でやっていかなければならないと思う。サッカークラブの競技成績やリーグ活動、地域からの期待も追及しつつ、その他スポーツでの交流活動や健康増進活動も展開していきたい。
委員長	スポーツツーリズムやスポーツコミッションと関係するが、地域の活性化として、地域との連携した大会運営や物産販売等に期待している。計画自体がスポーツに参加する、健康になる、楽しむだけではなく、さらに地域を活性化するので、いわき FC としても取り組んでもらいたい。その観点を計画の中に取り込んでいきたい。
委員	試合を一つ見ても、サッカーを軸としながらいろんな要素が関わっている。例えば、「食」の部分で言えば、スタジアムの外に地域の物産・PR ブースや飲食店の出店がある。また、毎回試合ごとにスポーツランティアは募集していて、若干名の登録がある。いろんな活動を見て頂く、関わって頂く事は積極的に行っていきたい。

委員長	ボランティア育成の起爆剤として、いわき FC には期待している。そこから他のスポーツへの波及もあると思われる。 その他あるか。
委員	10 のいわき FC との連携で、いわき FC (フットボールクラブ) という名前のウケが悪い。サッカーの他に色々活動されているのは認識しているがスポーツクラブではなく、サッカークラブのような認識もある。SC (スポーツクラブ) になった方が分かりやすいように思う。
委員長	書き方の問題もあるので、今後検討したい。
委員	いわき FC はプロスポーツなのか。
委員	選手契約自体は今年から全員プロ契約をしているが、リーグはアマチュアリーグである。
委員	プロリーグに参入できれば、いわき市にとっては大きな事だと思う。
委員	SC になった時に誤解があると思うが、スポーツクラブとして活動している事を名称に合わせられればと思う。
事務局	基本目標について、考え方として、サイクルスポーツやいわき FC を特出せずスポーツ推進等の一部に含めるなども検討したが、敢えて特出した。その辺、ご意見頂けると幸いである。
委員長	手法として、色んなやり方があるという話。最終的なまとめ方としては、足りないところを足していくことになると思う。考え方や項目についても非常に重要なので、その他皆様からもご意見を頂ければと思う。ハード、インフラ等について施設側からは、いかがだろうか。
委員	整備には大きな費用は掛かるが、管理費、運営費も相当かかっている。人口減少、高齢化が進む中で、これ以上の施設の増大はどうかと思う。ある程度の統廃合や集約があれば納得できるが、現状よりも増やすのは難しいかと思う。その他、利用率を上げる話もあるが、難しい施設もある。いわきグリーンフィールドは 70 日/365 日で 1 日あたりサッカーの場合は 2 試合程度が天然芝の限界である。いわき FC の拠点になるかはわからないが、プロスポーツの維持管理をしていくとなると、年間 20 ~30 試合程度しか開催出来ない。施設側の管理についても可能な方法を模索して頂きたい。市民と団体が利用するバランスが必要かと思う。また、資料内で固有名詞がでるのはいわき FC だけである。10 年後には他のスポーツ団体がでてくる可能性もあるので、そういったものも入れた方が良いのでは。記述の内容は、いわき FC 中心にならざるを得ないが、固有名詞を挙げるのは市の契約としてどうかと思う。
委員長	施設管理は市民と団体との使用者の側面と供給側の維持管理費の問題がある。その中で施設を増やすのか現状維持を基本としながら効率化を図る方針なのかは計画に明記する必要がある。また、いわき FC が計画に載るとするのは、いわき FC にプレッシャーを感じて頂くというのものもある。ただ、いわき FC は 8 町村がホームタウンで、それをいわき市が応援する形になっているので、双葉町等との協議・連携も必要になるかと思う。

委員	以前所属していたジュビロ磐田では、Jリーグが発足した際、行政との連携が取れておらず、初年度は参画できなかった。そう考えると、いわきFCとの連携を項目として入れた方が、Jリーグが評価する一つの指標になると思う。
委員長	それを計画に書くというのは、いわき市も相当の覚悟を持っているという事だと思う。
委員	方向性として、個人的にはこれでいいと思う。
委員長	頂いた意見は具体的な事業として、4章以降に盛り込んでいきたいと思う。また、基本目標に盛り込む話ではないのかもしれないが、コロナウイルスへの対応は必要かと思う。スポーツをする事は密や接触を招く事に繋がるので、目標という形ではないが、する・みる・支える所での安全対応も計画に入れて頂きたいと思う。色々ご意見を頂いたので、書きぶり等はあるが、概ねの方向性としてよろしいか。
事務局	この10項目に対してブレイクダウンする段階で詳細を議論する必要が出た場合は、別途フィードバックしながら検討会で議論頂き10本で良いのか再確認頂ければと思う。また、チャレンジングという話があったが、今までの計画としては補助金に対して行政がやるべき内容を記載している計画が多いように思う。それは、計画策定後の実施は行政の手が離れていたり、力が及ばなかったりした部分があった。これから人口減少が進んでいく中で、職員のリソース不足やお金も担い手も少なくなり、企業や市民や団体の協力も得ないと維持出来ないと感じている。そこで、計画の中に実施する際の具体的な役割を盛り込んで、多様な主体が取り組んでいくような計画にしたいと思っている。
委員	策定事態は市がやる事でいいと思うが、実施するのは地域全員というスタンスで良いと私は思う。いろんな人がチャレンジして結果的に人を呼び込めれば良いのかと思う。
委員長	現時点の方向性については承認頂いて、これをベースに第4章以降を作り込んでいく形にしたいと思っている。それを踏まえて、基本方針を固めて参りたいと思う。実際にやるのは難しいが、目標として記載するので、取り組み内容も含めて、市民もやるべき事が明確になると思う。それぞれの立場でそれぞれのレベルで、スポーツに関わって欲しいと思う。今後、企業の立ち位置や協賛・後援だけではないスポーツへの参画も計画に盛り込んで頂きたい。色々ご意見を頂いたので、これを膨らませて、落とし込む形で今後進めていきたい。

以上